

食品ロスの削減、生活困窮者への食品支援の取り組み 24トンの農産物をフードバンクへ寄贈(2018年度)

コープデリ連合会（本部：埼玉県さいたま市、理事長：土屋 敏夫、会員生協：関東信越の7生協）は、物流センターで予備に少量確保している農産品や流通段階で少し袋が破けたお米等を、食品ロスとならないようにフードバンクへ寄贈しています。2018年度（2018年4月～2019年3月）は、合計24トン（24,655kg）の農産品をフードバンクに寄贈しました。

寄贈した商品は、フードバンクを通じて生活困窮者、福祉施設、子ども食堂などに提供されています。

国内での食品ロスの発生量は年間約643万トン*（2016年）に上っており、売れ残りや食べ残しを減らし、無駄に使われる食品の抑制が求められています。当連合会は、積極的にフードバンクと協力して、食品ロスの削減や地域の生活困窮者支援を進めてまいります。

※農林水産省、環境省発表値（2019年4月12日）

■果実、野菜の寄贈実績(2018年度)

寄贈先(フードバンク)	寄贈量
セカンドハーベスト・ジャパン（本部：東京都台東区）	10,346kg（果実：2,520kg、野菜：7,826kg）
フードバンク北関東（本部：群馬県館林市）	6,678kg（果実：1,239kg、野菜：5,439kg）
合計	17,024kg（果実：3,759kg、野菜：13,265kg）

■お米の寄贈実績(2018年度)

寄贈先(フードバンク)	寄贈量
セカンドハーベスト・ジャパン（本部：東京都台東区）	6,001kg
フードバンクちば（本部：千葉県千葉市）	1,100kg
フードバンクふなばし（本部：千葉県船橋市）	530kg
合計	7,631kg

*お米、果実、野菜の合計24トン（24,655kg）



『SDGs』の目標12
持続可能な消費と生産のパターンを確保するに貢献します

コープデリ連合会と会員生協は、2015年に国連で採択された17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」の実現に、事業と活動を通して貢献します。 ※詳しくはこちら <https://sustainability.coopdeli.coop/>

《コープデリ生活協同組合連合会 概要》

【住 所】埼玉県さいたま市南区根岸1-4-13 【総事業高】5,428億円（会員生協計・2017年度）
 【理 事 長】土屋 敏夫（つちや としお） 【ホームページ】<https://www.coopnet.jp/>
 【組合員数】494万人（2019年3月20日現在）
 【会員生協】コープみらい、いばらきコープ、とちぎコープ、コープぐんま、コープながの、コープにいがた、コープクルコ